

第1・2学年複式学級 生活科授業構想シート

授業者 中西 大

本実践の主張点	異学年・異内容であっても共通テーマをもつ単元構成を行い、教師が学び方を明確に示すことで、異学年が交流しながら主体的に学べるようになる。
---------	---

1. 単元名 1年生：おもちゃ博覧会を楽しもう 2年生：おもちゃ博覧会を開こう

2. 1・2年F組の子ども

3. 何ができるようになるか

探究力	省察性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と関わりながら、生活や社会をより良くしようと主体的に取り組む。(実行力) ・ 気付いたことから広げ、知識や経験を生かして考え、創り出す。(創造力) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の活動を振り返り、できなかったことを減らそうとする。(実行力を支える省察性) ・ 自分なりの考えをもって取り組むことができたか振り返る。(創造力を支える省察性)

4. 何を学ぶのか

① 単元の目標

<p>1年生：遊ぶ体験をとおしたルールやマナーへの気付きを、自分の生活に生かそうとする。</p> <p>2年生：思い描いたおもちゃを作る工夫に気付き、友達とアイデアを交換しながら制作に生かす。</p>
--

② 教材の価値

<p>1年生では、公園や校庭のプレイランドで遊んだ実体験をもとに、おもちゃ博覧会への参加の仕方について、ルールやマナーを意識して考えられるようになる。そこには、自立や自律に向けて活動をする姿が見られるはずである。</p> <p>2年生では、自分が考えたおもちゃを作るだけではなく、1年生を迎えて楽しませてあげたいという思いから、多くの人に喜んでもらえるよう、さらに工夫を考えるはずである。そのため、材質や作り方の工夫についての気付きを深め、協働して取り組もうとする姿につなげられる。</p>

③学年間・教科間のつながり

博覧会という共通テーマを設け、主催者・参加者という違った視点での関わり方を設定した。1年生のマナーやルールの表現は、2年生にも気付きを与えるとともに、道徳科の公共心との関連も図れる。2年生は、昨年度の学びを生かして1年生に伝えるとともに、3年生の理科における「風やゴムの働きで動くおもちゃづくり」とその学習につながることも意識している。

5. どのように学ぶのか

①働かせたい思考スキル

くらべる
 つなげる
 まとめる
 広げる
 予想する
 見方を変える

②学習内容を理解し、資質・能力を育成するための学習過程

<p style="text-align: center;">単元計画</p> <p>[1年生] (全7時間) 本時4/7 公園で遊び、遊び方を振り返る…1～2時間 プレイランドでの遊び方…3時間 博覧会プレオープンに出かける…4時間【本時】 案内板の制作…5時間 おもちゃ博覧会を楽しむ…6時間 公園での遊び方に生かす…7時間</p> <p style="text-align: center;">【1・2年生が一緒に活動する3時間を別に確保】</p> <p>[2年生] (全9時間) 本時7/9 おもちゃの設計図・材料準備…1～2時間 おもちゃ作り…3～6時間 博覧会プレオープンを開催する…7時間【本時】 博覧会用おもちゃの最終調整…8時間 おもちゃ博覧会を開く…9時間</p>	<p style="text-align: center;">単元における授業づくりのしかけ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">探究力を育む</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常会話の雰囲気を出すための場であるコミュニケーションテーブルでの活動を促す。 ・ 自他の活動から気付かせ、考えを深めるための写真やビデオの提示。 ・ 活動に見通しをもたせることと、失敗から学ぶ「やってみる」活動のバランスをとる。 </td> </tr> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">省察性を育む</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の振り返りでは、「できたこと・できなかったこと」「わかったこと・わからなかったこと」に視点を絞って取り組ませる。 ・ 目的を明確にし、それに合った学習活動ができているか振り返らせる。 </td> </tr> </table>	探究力を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常会話の雰囲気を出すための場であるコミュニケーションテーブルでの活動を促す。 ・ 自他の活動から気付かせ、考えを深めるための写真やビデオの提示。 ・ 活動に見通しをもたせることと、失敗から学ぶ「やってみる」活動のバランスをとる。 	省察性を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の振り返りでは、「できたこと・できなかったこと」「わかったこと・わからなかったこと」に視点を絞って取り組ませる。 ・ 目的を明確にし、それに合った学習活動ができているか振り返らせる。
探究力を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常会話の雰囲気を出すための場であるコミュニケーションテーブルでの活動を促す。 ・ 自他の活動から気付かせ、考えを深めるための写真やビデオの提示。 ・ 活動に見通しをもたせることと、失敗から学ぶ「やってみる」活動のバランスをとる。 				
省察性を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の振り返りでは、「できたこと・できなかったこと」「わかったこと・わからなかったこと」に視点を絞って取り組ませる。 ・ 目的を明確にし、それに合った学習活動ができているか振り返らせる。 				

6. 何が身に付いたか

		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	1年	遊び場で楽しく遊ぶルールやマナーに気付く。	みんなが楽しく遊べるルールやマナーを考え、示す。	周囲の人のことを考え、楽しく生活している。
	2年	材質の特徴や作り方の工夫に気付く。	目的のおもちゃにするための工夫を考える。	楽しめるものにしようと、よりよい工夫を探る。

第1・2学年複式学級 生活科学習指導本時案

授業者 中西 大

日時：2019年6月15日（土）第1校時（8:55～9:40）

対象：第1・2学年F組 16人

場所：1・2年F組教室

本時の主張点	異学年が関わって学習活動を展開することで互いに要求し、異学年から学び、自分たちの活動をより高めようとする。
--------	---

1. 本時について

1年生は、2年生が開催する博覧会のプレオープンに参加することになる。楽しみにしていた気持ち優先で参加し、活動する中で参加の仕方についての問題を見出すことになる。そこで、博覧会に必要なルールやマナーを考え、表現しながら案内板に示す活動へとつなげたい。同時に、自分たちが遊びたいおもちゃのイメージを伝え、2年生がさらに工夫するきっかけにしたい。

2年生は、博覧会のプレオープンを開催することで、自分たちも参加者も満足できるようなおもちゃ作りや会場設営へとつなげる情報収集の時間にしたい。そのため、1年生に遊んでもらうことで、自分たちの取り組みを評価できるようにしている。また、1年生の参加の仕方について、主催者として希望することを伝え、1年生がルールやマナーを適切に考え、守りながら参加できるようになるきっかけにしたい。

2. 本時における探究的な学びと省察性の働き

1・2年生が博覧会に関わりながら交流する初回の学習活動となる。そのため、それまでに自分たちが学んで活動してきたことを更新したり、改善したりする場面となる。そこには、友達と関わる中でそれぞれの活動をより良くしようとする探究的な学びにしたい。特に、複式学級の特徴である異学年での学び合いを取り入れ、異学年が関わる中で高め合う学びにしたい。同時に、教師が関われない時間であっても自分たちで学びを進められるようにしたい。また、これまでの自分たちの活動と本時の姿を振り返ることで、省察性を働かせ、活動をより良くしようとする姿を期待している。

3. 探究的な学びを支える授業のしかけ

子どもたちが本時において探究しようとするのは、それまでにうまくいっていると思っていたことが覆され、新たな課題が生じるときだと考えている。

1年生では、おもちゃを壊してしまったり、説明を聞かずに遊んだりするなど、自己中心的になることも考えられる。そこで、2年生から遊び方のお願いなどを聞くことで、自律的な行動が必要だと気付かせたい。2年生では、参加する1年生の遊び方を見て工夫点を見出させたり、おもちゃに対する思いを聞けるようにしたりする。また、授業者が撮影した写真やビデオでプレオープンの様子を振り返るようにし、客観的に自他の活動を見直せるようにしたい。

4. 育みたい資質・能力

探究力	省察性
<ul style="list-style-type: none"> 経験や気付きを生かして、活動や工夫を改善しようとする。(創造力) 	<ul style="list-style-type: none"> 相手にとって必要か、適切かなどを含めて振り返ろうとする。(創造力を支える省察性)

5. 本時の目標

- 1年生：みんなが楽しめる参加方法を考える。
- 2年生：参加者が喜ぶおもちゃの工夫を考える。

6. 本時の展開

学習活動と予想される子どもの反応	留意点・評価
<p>[1年生]</p> <ol style="list-style-type: none"> 博覧会プレオープンに参加する。 <ul style="list-style-type: none"> 用意されたおもちゃに夢中になって遊ぶ。 楽しさから、声が大きくなる。 2年生からアドバイスを受け、自分たちの参加の様子を思い出し、改善点を見出す。 <ul style="list-style-type: none"> 「ワイワイなっていて説明が聞きにくかったね。」「大切に使わないと…。」「順番をまもったり、ゆずったりしないとね…。」 ルールやマナーを発表し合い、まとめる。 <ul style="list-style-type: none"> 「一人“何分”とか決めようよ。」 	<ul style="list-style-type: none"> ●客観的に見直せるように、子どもたちの活動の様子を写真やビデオで撮影しておく。 ●公園やプレイランドで遊んだ時のことを思い出させ、公共の場における体験と関連付けながら考えさせる。 ●笑顔で参加できるように、「～しよう」のような前向きな言葉に気付かせる。 <p>☉みんなが集まって遊ぶ場でのルールやマナーを考えている。</p>
<p>[2年生]</p> <ol style="list-style-type: none"> 博覧会プレオープンを行う。 <ul style="list-style-type: none"> おもちゃの使い方などを説明しながら、1年生に遊んでもらう。 1年生の様子について感じたことを伝え、1年生からおもちゃへの希望を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> 「騒がしいので、声小さくしてほしいです。」「並んでくれて嬉しかったです。」 おもちゃの工夫や改善について話し合い、制作に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> 「もっとまっすぐ動くようにしたいな。」 	<ul style="list-style-type: none"> ●遊んでもらう中で、これから工夫する点や改善点などを記録に残せるようにする。 ●活動の様子を写真やビデオで振り返り、既習のルールやマナーを思い出しながら1年生に伝えられるようにする。また、よかったことを伝えさせたい。 ●工夫や改善の目的を明確にできるよう、制作前にメモか完成予想図を残させる。 <p>☉多くの参加者が喜ぶような工夫や改善点を見出し、おもちゃに生かそうと考えている。</p>